

Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイント

Cisco® Aironet® 1250 シリーズは、IEEE 802.11n 標準規格に基づくビジネスクラスのアクセス ポイントです。最大 300 Mbps の複合データ レートを提供し、ユーザの場所に関係なく高帯域幅データ、音声、映像アプリケーションへのモバイルアクセスを可能にします。Multiple-Input, Multiple-Output (MIMO) テクノロジーの採用により、信頼性の高い予測可能な WLAN カバレッジを提供し、既存の 802.11a/b/g クライアントと新しい 802.11n クライアントの両方のエンドユーザ エクスペリエンスを向上させます。

堅牢な Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイント(図 1)は、簡単に現場でアップグレード可能に設計されたモジュラ プラットフォームであり、さまざまなワイヤレス テクノロジーをサポートできます。このモジュラ性により、企業は次世代ワイヤレス テクノロジーのサポートが約束されたネットワーク投資が可能になります。

Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントは、802.11n などの高速 WLAN テクノロジーの電力要件、スループット要件、および機械的要件をサポートするように設計されています。現在、このプラットフォームでは、IEEE 802.11n 標準規格に準拠した 2.4 GHz と 5 GHz モジュールの両方を提供しています。技術の発展に応じて、プラットフォームはインテリジェント RF サービスを提供するように設計された将来の無線モジュールを柔軟にサポートし、ワイヤレス ネットワークのパフォーマンスと信頼性を向上させます。Cisco Aironet 1250 シリーズは堅牢な室内用アクセスポイントで、付け替え可能な種類のアナテナ、堅牢な金属製エンクロージャ、幅広い動作温度といった特長を備え、オフィス環境のほか、工場、倉庫、病院、大規模小売店舗などの厳しい要件を持つ RF 環境にも対応できます。Cisco Aironet 1250 シリーズは、ギガビット イーサネット (10/100/1000) インターフェイスを使用して、802.11n などの高速 WLAN テクノロジー向けのラインレート スループットを提供します。また給電には、ローカル電源とインライン パワーのどちらも利用できます。

図 1 Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイント



Cisco Aironet 1250 シリーズは、Cisco Unified Wireless Network の構成要素の 1 つです。Cisco Unified Wireless Network は、有線および無線ネットワークを統合する包括的なソリューションで、共通のサービスおよびアプリケーションの提供を可能にし、ユーザが接続方法を意識することなくネットワーク接続を利用できるようにするとともに、IT の運用管理を簡略化します。Cisco Aironet 1250 シリーズは、Cisco Unified Wireless Network とシームレスに統合されています。Cisco ワイヤレス ソリューションで幅広く利用されているものと同等の、先進的な RF およびネットワーク管理機能を拡張します。

Cisco Aironet 1250 シリーズには、コントローラベース(集中管理型)およびスタンドアロン(分散管理型)の 2 種類の構成オプションがあります。Lightweight Access Point Protocol(LWAPP)を使用したアクセス ポイントは、Cisco ワイヤレス LAN コントローラと、オプションの Cisco Wireless Control System(WCS)と連動します。Cisco Aironet 1250 シリーズは、LWAPP が設定されている場合、利用可能な最善の Cisco Wireless LAN Controller を自動的に検出して、手動による介入なしで適切なポリシーと設定情報をダウンロードします。Cisco Aironet 1250 シリーズは、スタンドアロン型のアクセス ポイントとして構成される場合、機能のベースライン セットとなり、あとでソフトウェア アップグレードを行うことで Cisco Unified Wireless Network の利点をフルに活用することができます。

投資保護

Cisco Aironet 1250 シリーズは、IEEE 802.11n 標準規格に準拠したモジュラ プラットフォームで、「Wi-Fi CERTIFIED™ n」認証準拠アクセスポイントとして認定されています。モジュラ型の Cisco Aironet 1250 シリーズは、現場でアップグレード可能な無線モジュールにより、規格の発展にも対応できるようになっています。シスコは、Cisco Aironet 1250 シリーズは最終版の IEEE 802.11n 規格が批准されたあとこれに準拠することを保障しています。WLAN のパフォーマンスを即座に拡張する必要のあるビジネスでは、IEEE 802.11n 標準 規格の無線モジュールをすぐに導入することが可能であり、これに対する投資は保護されます。また、これらのモジュールにより、規格の発展にもなって現場でのアップグレードが必要になった場合にも、簡単に現場でアップグレードできるようになっています。

優れたセキュリティ

Cisco Aironet 1250 シリーズは、802.11i、Wi-Fi Protected Access(WPA)、WPA2、802.1X、各種の Extensible Authentication Protocol(EAP)などの、業界標準のワイヤレス セキュリティ プロトコルをサポートしています。アクセス ポイントには、パフォーマンスを損なわずに企業および政府のもっとも厳しい暗号化要件に合うように設計された、ハードウェア アクセラレーションによる Advanced Encryption Standard(AES; 高度暗号化規格)暗号化が搭載されています。Cisco Secure Wireless Solution の構成要素である LWAPP で動作する Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントを使用すれば、無線および有線の侵入防御および検出を包括的に行うことができます。各アクセス ポイントは、RF 環境をスキャンし、不審または無許可のワイヤレス アクティビティをレポートするので、802.11a/b/g とさらに 802.11n 全体で包括的な攻撃防御を効率的に構築することができます。さらに、Cisco Aironet 1250 アクセス ポイントは、ワイヤレス ネットワーク インフラストラクチャによる 802.11 管理フレームの暗号化に対する管理フレーム保護をサポートしています。これにより、man-in-the-middle 攻撃やスプーフィング攻撃の脅威をネットワークから完全に除去することができます。アクセス ポイントで悪意のある攻撃が検出されると、アラームが生成されてネットワーク管理者に通知されます。

RF 管理

シスコは、ビジネス用ワイヤレス ネットワークを展開する際の運用上の課題に対処する独自の機能を、このワイヤレス ソリューションに組み込んでいます。これらの機能の核となるのが、絶えず変化するパフォーマンス要件に合わせて WLAN パラメータを微調整する、インテリジェントな Radio Resource Management (RRM) アルゴリズムです。RRM により、Cisco Unified Wireless Network は、既存の RF 環境を継続的に分析して自動的にアクセス ポイントの電力およびチャネル設定を調整することが可能になり、共同チャネルによる干渉や信号カバレッジの問題などを緩和するのに役立っています。Cisco Aironet 1250 シリーズは、従来の 802.11a/b/g 製品とは異なり、ワイヤレス信号の信頼性と予測性を改善するために、RF マルチパス伝播効果を利用する Multi-Input Multi-Output (MIMO; 複数入力複数出力) テクノロジーを使用しています。Cisco Aironet 1250 シリーズは、Dynamic Frequency Selection (DFS) に関する最新の米国および欧州の要件をサポートしていて、アクセス ポイントが正確にレーダ イベントを検出して利用可能な 5 GHz スペクトラムをフルに使用できることが保証されています。さらに、Cisco Aironet 1250 シリーズは、Software Defined Radio (SDR; ソフトウェア無線) をサポートしており、使用が承認された新規周波数や電力レベルをサポートするために現場でのアップグレードが可能です。これらの RF 管理機能により、システム容量が増加して、RF デッド ゾーンおよびアクセス ポイント障害を補償する自動化された自己回復機能が実行され、もっとも貴重な資産の 1 つである会社のスペクトルを管理するための包括的な手法が提供されます。

展開のシナリオ

IEEE 802.11n 標準規格をサポートする Cisco Aironet 1250 シリーズは、多くの業種においてさまざまな導入目的に理想的な製品です。802.11n ネットワークの改善されたスループット、信頼性、予測性は、真のモバイル企業を目指すために多くの企業が求める要件を満たしています。シスコの次世代ワイヤレス テクノロジーは、次のような特性を持つ環境において特に有益です。

- 過酷な RF 環境 (製造工場、倉庫、医療現場など)
- 帯域幅を大量に消費するアプリケーション (デジタル イメージング、ファイル転送、ネットワーク バックアップなど)
- 音声と映像を含む、リアルタイムで遅延に敏感なアプリケーション
- 既存の 802.11a/b/g と 802.11n ワイヤレス クライアントをサポートする必要がある環境

多様なアンテナの利用が必要とされるクリティカルなビジネス環境向けに設計された Cisco Aironet 1250 シリーズは、カバレッジが改善され、取り付けた場合に外見が美しいアンテナ コネクタを備えています。Cisco Aironet 1250 シリーズは UL 2043 規格に準拠しているため、自治体の消防基準で規制されたプレナム空間にある天井タイルの上または天井から吊るして設置できます。

機能および利点

表 1 に、Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントの機能と利点を示します。

表 1 Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントの機能と利点

機能	利点
無線通信あたり最大 300 Mbps のデータ レート	802.11n 標準規格は、40 MHz チャンネル、パケット集約、ブロック確認応答などの機能を備え、ユーザ アプリケーションで利用可能な帯域幅の総量を大幅に増やしています。 無線あたり最大 300 Mbps の物理レイヤ (PHY) データレートをサポートすることで、ネットワーク パフォーマンスが 802.11a/b/g と比べて約 5 倍増加します。
強力なプラットフォーム	電力、放熱、メモリ、CPU、ギガビット イーサネット伝送に関する 802.11n および将来のワイヤレス テクノロジー要件をサポートするように設計されています。
現場でのアップグレード可能な設計と、導入が簡単なモジュール	現場でのアップグレード可能な無線により、投資が保護されます。技術の進歩と共に、無線モジュールを新しい無線モジュールに交換できるので、新規アクセス ポイントの設置費用が発生せず、アクセス ポイント シャーシへの投資が保護されます。
2.4 GHz および 5 GHz 無線モジュール	デュアル無線により、2.4 GHz および 5 GHz ワイヤレス ネットワークの同時運用が可能となり、利用可能チャンネルが大幅に増加して、システム容量とスケラビリティが最大化されます。
ローカル電源とインライン パワーの両方をサポート	最適なパフォーマンスを実現するために、このアクセス ポイントでは、イーサネット ケーブルを通じた給電方法と、ローカル電源装置の両方をサポートしています。
既存 802.11a/b/g クライアントとの下位互換性	既存の 802.11a/b/g への投資を保護し、802.11n への移行が容易になります。
内蔵された RF 管理機能	内蔵の RF 管理機能は、企業のワイヤレス ネットワークの配備に変更が発生したときの運用をサポートします。この機能のなかには、無線リソース管理、MIMO、優れた DFS サポート、SDR 認証、WCS と連動したスペクトラム インテリジェンスが含まれます。これらの RF 管理機能は、システム容量の増加、システム パフォーマンスの強化、自動化されたセルフヒーリングを可能にし、RF デッドゾーンやアクセスポイントの障害を補完します。また、これにより、もっとも貴重な財産であるコアレート スペクトラムを包括的に管理できるようになります。
最大 24 の非オーバーラップ チャンネルのサポート ¹	隣接アクセス ポイントからの潜在的な干渉が小さくなり、展開が簡素化され共同チャンネルによる干渉が減少し、伝送エラーが少なくなって大きなスループットが得られるようになります。チャンネル数の増加はスループットの向上を意味しており、IEEE 802.11n 標準規格で導入された 40 MHz チャンネルをサポートしています。
2.4 GHz および 5 GHz 無線通信に対応する外部 RP-TNC アンテナ コネクタ	アンテナ コネクタはシスコの各種 2.4 GHz アンテナおよび 5 GHz アンテナをサポートし、多様な範囲およびカバレッジを提供します。
Cisco Unified IDS/IPS	業界で最初の有線および無線セキュリティ統合ソリューションであるシスコ セキュア ワイヤレス ソリューションに必要な不可欠なこのアクセス ポイントは、RF 環境をモニタして、不正なアクセス ポイントや RF DoS 攻撃 (サービス拒絶攻撃) など、不正なワイヤレス アクティビティを検出して検索します。
管理フレーム保護	管理フレーム保護は、802.11 パケットの管理ヘッダを暗号化して、インフラストラクチャのアクセス ポイントを偽装した悪意あるユーザによるフレームのスプーフィングをアクセス ポイントで検出することができます。アクセス ポイントで悪意のある攻撃が検出されると、警告が生成されてネットワーク管理者に通知されます。
堅牢な金属製ハウジング	アクセス ポイントは金属製のケースで作成されており、工場、倉庫、屋外 (NEMA エンクロージャを使用) などの過酷な環境をはじめとする、さまざまな産業環境へ設置可能なように堅牢に作られています。
UL 2043 プレナム定格と幅広い動作温度	吊り天井の上などの空間に設置して使用可能です。

¹ 日本電波法の場合、2.4 GHz 帯で 13 チャンネル、5 GHz 帯で 8 チャンネルをサポートします。サポート チャンネル数は国によって異なります。特定の国における周波数帯と動作チャンネルのサポートについては、表 2 を参照してください。

まとめ

Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントは、IEEE 802.11n 標準規格に基づくビジネスクラスのアクセス ポイントです。Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントは、そのモジュラ設計により、現在および将来のワイヤレス テクノロジーをサポートして、投資に対する保護が保証されています。アクセス ポイントでは 2.4 GHz および 5 GHz 802.11n 規格無線モジュールを使用して

いて、最大 300 Mbps の合計データレートを提供し、もっとも要求の厳しいアプリケーションのパフォーマンス要件にも合致します。統合 MIMO テクノロジーは、もっとも過酷なワイヤレス環境であっても、既存の 802.11a/b/g クライアントと新しい 802.11n クライアントの両方に対して、信頼性の高いカバレッジと良好なスループットを提供します。ユーザは有線ネットワークと同様のエクスペリエンスを提供する無線ネットワークを信頼することができ、ユーザの場所に関係なく高帯域幅データ、音声、映像アプリケーションへのモバイル アクセスが提供されます。

製品仕様


表 2 に、Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントの製品仕様を示します。

表 2 Cisco Aironet 1250 アクセス ポイントの製品仕様

項目	仕様				
製品番号	無線モジュールがインストールされたアクセス ポイント プラットフォーム <ul style="list-style-type: none"> • AIR-AP1252AG-P-K9:デュアルバンド 802.11n モジュラ IOS AP、RP-TNC × 6 • AIR-AP1252G-P-K9:2.4 GHz 802.11n モジュラ IOS AP、RP-TNC × 3 • AIR-LAP1252AG-P-K9:デュアルバンド 802.11n モジュラ LWAPP AP、RP-TNC × 6 • AIR-LAP1252G-P-K9:2.4 GHz 802.11nモジュラ LWAPP AP、RP-TNC × 3 コンポーネントごとの製品番号 <ul style="list-style-type: none"> • AIR-AP1250=:モジュラ分散管理型アクセス ポイント プラットフォーム(無線モジュールなし)(スベア) • AIR-LAP1250=:モジュラ集中管理型アクセス ポイント プラットフォーム(無線モジュールなし)(スベア) • AIR-RM1252A-x-K9=:802.11a/n 5-GHz 無線モジュール(3 × RP-TNC) • AIR-RM1252G-x-K9=:802.11g/n 2.4-GHz 無線モジュール(3×RP-TNC) • AIR-AP1250MNTGKIT=:Cisco Aironet 1250 シリーズ天井および壁付け用ブラケット キット(スベア) 本製品は、日本 2(TELEC)での使用を対象にしています。各国における使用認可については、顧客側で確認する必要があります。認可状況を確認したり、特定の国に対応する規制区域を確認したりするには、次の URL を参照してください。 http://www.cisco.com/en/US/prod/collateral/wireless/ps5679/ps5861/product_data_sheet0900aecd80537b6a_ps430_Products_Data_Sheet.html [英語]				
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco IOS ソフトウェア Release 12.4(10b)JA 以降(集中管理モード) • Cisco IOS ソフトウェア Release 12.4(10b)JX 以降(分散管理モード) • Cisco Unified Wireless Network ソフトウェア Release 4.2 以降 				
802.11n (および関連) 機能	<ul style="list-style-type: none"> • 2×3 MIMO と 2 空間ストリーム • Maximal Ratio Combining (MRC) • レガシー ビーム フォーミング(この機能はハードウェアでサポート済、ソフトウェアで未サポート) • 20 および 40 MHz チャンネル • 最大 300 Mbps の PHY データ レート • パケット集約:A-MPDU (Tx/Rx)、A-MSDU (Tx/Rx) • 802.11 DFS (Bin 5) • Cyclic Shift Diversity(CSD)のサポート 				
サポートされる データ レート	802.11a:6、9、12、18、24、36、48、54 Mbps				
	802.11g:1、2、5.5、6、9、11、12、18、24、36、48、54 Mbps				
	802.11n データレート(2.4 GHz および 5 GHz) :				
	MCS インデックス ¹	GI = 800 ns ²	GI = 400 ns		
		20 MHz のレート (Mbps)	40 MHz のレート (Mbps)	20 MHz のレート (Mbps)	40 MHz のレート (Mbps)
	0	6.5	13.5	7 2/9	15
	1	13	27	14 4/9	30
2	19.5	40.5	21 2/3	45	
3	26	54	28 8/9	60	
4	39	81	43 1/3	90	
5	52	108	57 7/9	120	

項目	仕様				
	6	58.5	121.5	65	135
	7	65	135	72 2/9	157.5
	8	13	27	14 4/9	30
	9	26	54	28 8/9	60
	10	39	81	43 1/3	90
	11	52	108	57 7/9	120
	12	78	162	86 2/3	180
	13	104	216	115 5/9	240
	14	117	243	130	270
	15	130	270	144 4/9	300
周波数帯および動作チャンネル	-P(日本 2): <ul style="list-style-type: none"> • 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャンネル OFDM • 2.412 ~ 2.484 GHz、13 チャンネル CCK • 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャンネル 				
注: 数値は規制区域によって異なります。各規制区域の特定の詳細については、製品マニュアルを参照してください。					
非オーバーラップチャンネルの最大数	5 GHz <ul style="list-style-type: none"> • 802.11a: <ul style="list-style-type: none"> ◦ 20 MHz: 21 • 802.11n: <ul style="list-style-type: none"> ◦ 20 MHz: 21 ◦ 40 MHz: 9 		2.4 GHz <ul style="list-style-type: none"> • 802.11b/g: <ul style="list-style-type: none"> ◦ 20 MHz: 3 • 802.11n: <ul style="list-style-type: none"> ◦ 20 MHz: 3 ◦ 40 MHz: 1 		
注: 最大数は規制区域によって異なります。各規制区域の特定の詳細については、製品マニュアルを参照してください。					
受信感度	802.11a -86 dBm(6 Mb/s 時) -85 dBm(9 Mb/s 時) -82 dBm(12 Mb/s 時) -81 dBm(18 Mb/s 時) -80 dBm(24 Mb/s 時) -79 dBm(36 Mb/s 時) -74 dBm(48 Mb/s 時) -73 dBm(54 Mb/s 時)		802.11b -90 dBm(1 Mb/s 時) -89 dBm(2 Mb/s 時) -87 dBm(5.5 Mb/s 時) -85 dBm(11 Mb/s 時)		802.11g -87 dBm(6 Mb/s 時) -86 dBm(9 Mb/s 時) -83 dBm(12 Mb/s 時) -82 dBm(18 Mb/s 時) -81 dBm(24 Mb/s 時) -80 dBm(36 Mb/s 時) -75 dBm(48 Mb/s 時) -74 dBm(54 Mb/s 時)
	5 GHz P802.11n(HT20) -85 dBm(MC0 時) -84 dBm(MC1 時) -83 dBm(MC2 時) -82 dBm(MC3 時) -79 dBm(MC4 時) -74 dBm(MC5 時) -73 dBm(MC6 時) -72 dBm(MC7 時) -85 dBm(MC8 時) -84 dBm(MC9 時) -83 dBm(MC10 時) -82 dBm(MC11 時) -79 dBm(MC12 時) -74 dBm(MC13 時) -73 dBm(MC14 時) -72 dBm(MC15 時)		5 GHz P802.11n(HT40) -85 dBm(MC0 時) -84 dBm(MC1 時) -83 dBm(MC2 時) -79 dBm(MC3 時) -76 dBm(MC4 時) -71 dBm(MC5 時) -70 dBm(MC6 時) -69 dBm(MC7 時) -85 dBm(MC8 時) -84 dBm(MC9 時) -83 dBm(MC10 時) -79 dBm(MC11 時) -76 dBm(MC12 時) -71 dBm(MC13 時) -70 dBm(MC14 時) -69 dBm(MC15 時)		2.4 GHz P802.11n(HT20) -86 dBm(MC0 時) -85 dBm(MC1 時) -84 dBm(MC2 時) -83 dBm(MC3 時) -80 dBm(MC4 時) -75 dBm(MC5 時) -74 dBm(MC6 時) -73 dBm(MC7 時) -86 dBm(MC8 時) -85 dBm(MC9 時) -84 dBm(MC10 時) -83 dBm(MC11 時) -80 dBm(MC12 時) -75 dBm(MC13 時) -74 dBm(MC14 時) -73 dBm(MC15 時)
使用可能な送信電力設定	2.4 GHz <ul style="list-style-type: none"> • 802.11b <ul style="list-style-type: none"> ◦ 1 アンテナで 23 dBm 			5 GHz <ul style="list-style-type: none"> • 802.11a <ul style="list-style-type: none"> ◦ 1 アンテナで 17 dBm 	

項目	仕様											
	<ul style="list-style-type: none"> ● 802.11g <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 アンテナで 20 dBm ● P802.11n(HT20) <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 アンテナで 17 dBm ○ 2 アンテナで 20 dBm ● P802.11n(HT40) <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 アンテナで 17 dBm ○ 2 アンテナで 20 dBm 	<ul style="list-style-type: none"> ● 複製 <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 アンテナで 17 dBm ● P802.11n(HT20) <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 アンテナで 17 dBm ○ 2 アンテナで 20 dBm ● P802.11n(HT40) <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 アンテナで 17 dBm ○ 2 アンテナで 20 dBm 										
注:最大電力設定は、チャンネルおよび各国の規制によって異なります。特定の詳細については、製品マニュアルを参照してください。												
利用可能な Tx 電力レベル	2.4 GHz 23 dBm(200 mW) 20 dBm(100 mW) 17 dBm(50 mW) 14 dBm(25 mW) 11 dBm(12.5 mW) 8 dBm(6.25 mW) 5 dBm(3.13 mW) 2 dBm(1.56 mW) -1 dBm(0.78 mW)	5 GHz 20 dBm(100 mW) 17 dBm(50 mW) 14 dBm(25 mW) 11 dBm(12.5 mW) 8 dBm(6.25 mW) 5 dBm(3.13 mW) 2 dBm(1.56 mW) -1 dBm(0.78 mW)										
注:最大電力設定は、チャンネルおよび各国の規制によって異なります。特定の詳細については、製品マニュアルを参照してください。												
アンテナコネクタ	<ul style="list-style-type: none"> ● 2.4 GHz: RP-TNC コネクタ × 3 ● 5 GHz: RP-TNC コネクタ × 3 											
インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> ● 10/100/1000BASE-T 自動検知 (RJ-45) ● 管理コンソール ポート (RJ45) 											
インジケータ	<ul style="list-style-type: none"> ● ステータス LED による動作ステータス、アソシエーション ステータス、エラー/警告条件、ブート シーケンス、およびメンテナンス ステータスの表示 ● イーサネット LED によるイーサネットのアクティビティおよびステータスの表示 ● 無線 LED による無線のアクティビティおよびステータスの表示 											
モジュール	<ul style="list-style-type: none"> ● モジュールスロット数: 2 ● 使用可能な無線モジュール <table border="1"> <thead> <tr> <th>製品番号</th> <th>説明</th> <th>Aironet 1250 アクセスポイント 1 台に搭載可能なモジュールの最大数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AIR-RM1252A-x-K9</td> <td>802.11a/n 5-GHz 無線モジュール(3 × RP-TNC)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>AIR-RM1252G-x-K9</td> <td>802.11a/n 2.4-GHz 無線モジュール(3 × RP-TNC)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			製品番号	説明	Aironet 1250 アクセスポイント 1 台に搭載可能なモジュールの最大数	AIR-RM1252A-x-K9	802.11a/n 5-GHz 無線モジュール(3 × RP-TNC)	1	AIR-RM1252G-x-K9	802.11a/n 2.4-GHz 無線モジュール(3 × RP-TNC)	1
製品番号	説明	Aironet 1250 アクセスポイント 1 台に搭載可能なモジュールの最大数										
AIR-RM1252A-x-K9	802.11a/n 5-GHz 無線モジュール(3 × RP-TNC)	1										
AIR-RM1252G-x-K9	802.11a/n 2.4-GHz 無線モジュール(3 × RP-TNC)	1										
寸法(幅×奥行×高さ)	<ul style="list-style-type: none"> ● マウント ブラケットなし: 20.62 × 24.18 × 5.97 cm(8.12 × 9.52 × 2.35 インチ) ● マウント ブラケットあり: 20.62 × 24.18 × 6.99 cm(8.12 × 9.52 × 2.75 インチ) 											
重量	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 無線取り付け済 AP: 2.31 kg(5.1 ポンド) ● AP シャーシ: 0.95 kg(2.1 ポンド) ● 2.4 GHz 無線: 0.68 kg(1.5 ポンド) ● 5 GHz 無線: 0.68 kg(1.5 ポンド) 											
環境仕様	保管温度(非動作時): -40 ~ 85°C(-40 ~ 185°F) 動作温度: -20 ~ +55°C(-4 ~ +131°F) 動作時: 10 ~ 90%(結露しないこと)											
システム メモリ	<ul style="list-style-type: none"> ● 64 MB の DRAM ● 32 MB のフラッシュ メモリ 											
入力電力要件	<ul style="list-style-type: none"> ● アクセスポイント: 36 ~ 57 VDC(デバイス) ● 電源およびパワー インジェクタ: 100 ~ 240 VAC、50/60 Hz 											
電源オプション	<ul style="list-style-type: none"> ● 18.5 W 以上の給電が可能な Cisco Catalyst スイッチ ポート ● Cisco Aironet Power Injector(AIR-PWRINJ4) 											

項目	仕様
	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco AP1250 ローカル電源 (AIR-PWR-SPLY1) • 802.3af スイッチ (単一无線の AP1250 のみ)
消費電力	<ul style="list-style-type: none"> • RM1252 無線モジュール × 2 取り付け済の AP1250: 最大 16.9 W • RM1252 無線モジュール × 1 取り付け済の AP1250: 最大 12.95 W <p>注: 単一无線の AP1250 の場合、16.9 W が受電装置で必要な最大電力です。PoE 設定でアクセス ポイントを使用している場合、相互接続ケーブルの長さに応じてある程度給電機器からの電力は高くなります。この追加電力は 1.6 W 程度であり、合計消費電力 (アクセス ポイント + ケーブル) は 18.5 W になります。同様の考慮事項がデュアル無線 AP1250 にもあります。</p>
保証	90 日
適合規格	<p>規格</p> <ul style="list-style-type: none"> • 安全基準: <ul style="list-style-type: none"> ◦ UL 60950-1 ◦ CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1 ◦ UL 2043 ◦ IEC 60950-1 ◦ EN 60950-1 • 無線の認可: <ul style="list-style-type: none"> ◦ FCC Part 15.247、15.407 ◦ RSS-210 (カナダ) ◦ EN 300.328、EN 301.893 (欧州) ◦ ARIB-STD 33 (日本) ◦ ARIB-STD 66 (日本) ◦ ARIB-STD T71 (日本) ◦ AS/NZS 4268.2003 (オーストラリアおよびニュージーランド) ◦ EMI および耐障害性 (クラス B) ◦ FCC Part 15.107 および 15.109 ◦ ICES-003 (カナダ) ◦ VCCI (日本) ◦ EN 301.489-1、-17 (欧州) • セキュリティ: <ul style="list-style-type: none"> ◦ 802.11i、WPA2、WPA ◦ 802.1X ◦ AES、TKIP • その他: <ul style="list-style-type: none"> ◦ FCC Bulletin OET-65C ◦ RSS-102
Wi-Fi 認定	 <ul style="list-style-type: none"> • IEEE 802.11a • IEEE 802.11b • IEEE 802.11g • IEEE 802.11n 標準 • IEEE 802.11h • IEEE 802.11d <p>セキュリティ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • WPA™ — 企業、個人向け • WPA2™ — 企業、個人向け <p>EAP タイプ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • EAP-Transport Layer Security (TLS) • EAP-Tunneled TLS (TTLS)/Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol Version 2 (MSCHAPv2) • Protected EAP (PEAP) v0/EAP-MSCHAPv2 • PEAPv1/EAP-Generic Token Card (GTC) • EAP-SIM

項目	仕様
	マルチメディア: <ul style="list-style-type: none">• WMM™

¹ Modulation and Coding Scheme (MCS) インデックスは、空間ストリーム数、変調、符号化レート、およびデータレート値を決定します。

² GI: シンボル間の Guard Interval (GI) により、レシーバーはマルチパス遅延の影響を抑制することができます。

電源オプション

Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントには、Cisco イーサネット スイッチ、パワー インジェクタ、またはローカル電源で電力供給する必要があります。

Cisco イーサネット スイッチ

どの Cisco イーサネット スイッチが Cisco Aironet 1250 シリーズに給電できるかは、無線モジュールの数に依存します。これには、次の 2 種類があります。

RM1252 無線モジュールを 1 つ搭載した Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントの場合

RM1252 無線モジュールを 1 つ搭載した Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントには、12.95 W の電力が必要です。これは、802.3af Power over Ethernet 標準で対応することができます。802.3af をサポートしている Cisco スイッチはすべて、RM1252 を 1 つ搭載した Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントへの給電に利用することができます。

RM1252 無線モジュールを 2 つ搭載した Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントの場合

2007 年の後半から、シスコは Cisco Catalyst 製品シリーズで Cisco Aironet 1250 アクセス ポイントに対するオートネゴシエーション、シングルポート パワーをサポートしています。このユニークな統合ソリューションは、2 つの無線モジュールを搭載した場合の電量要求を満たします。これにより、ケーブルを追加したり、パワー インジェクタを別途用意したりする必要がなくなりました。

パワー インジェクタ

Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントのパワー インジェクタ(AIR-PWRINJ4)は UL2043 認定済みインジェクタで、100 ~ 240 VAC を 56 VDC に変換し、アクセス ポイントへの電力供給用にその電力をカテゴリ 5 イーサネット ケーブルに流し込む、統合電源装置が含まれています(図 2)。

図 2 Cisco Aironet パワー インジェクタ – Cisco Aironet アクセス ポイントおよびブリッジにインライン パワーを供給

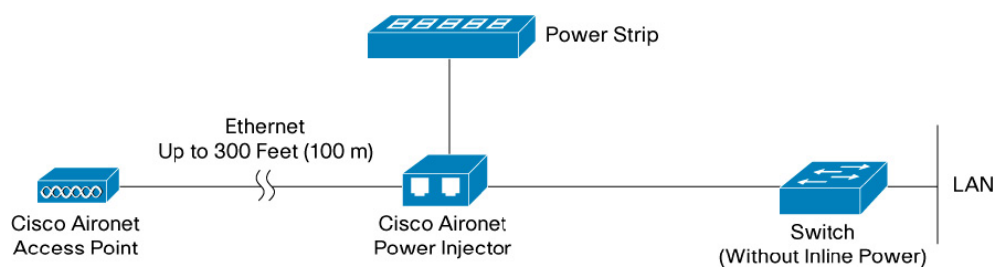


表 3 に示すように、Cisco Aironet パワー インジェクタは、アクセス ポイントと合わせて発注することも、個別に発注することも可能です。アクセス ポイントの発注に合わせてパワー インジェクタを構成する場合、アクセス ポイントと同じ梱包箱に収められて出荷されます。パワー インジェクタを別個に発注する場合、別の箱に収められて出荷されます。

表 3 Cisco Aironet 1250 シリーズ パワー インジェクタの製品番号

製品番号	製品の説明
AIR-PWRINJ4	1250 シリーズ用 Cisco Aironet パワー インジェクタ
AIR-PWRINJ4=	1250 シリーズ用 Cisco Aironet パワー インジェクタ(スペア)

パワー インジェクタの製品仕様

表 4 に、Cisco 1250 シリーズ用 Cisco Aironet パワー インジェクタの製品仕様を示します。

表 4 Cisco Aironet 1250 シリーズ用 Cisco Aironet パワー インジェクタの仕様

説明	Cisco Aironet 1250 シリーズ用 Cisco Aironet パワー インジェクタ
製品番号	AIR-PWRINJ4
LAN 接続	<ul style="list-style-type: none"> • カテゴリ 5 ケーブルの最大長: スイッチから装置まで 100 メートル • タイプ: RJ-45 • ラベル: 10/100/1000 BASE-TX To SWITCH
装置接続	<ul style="list-style-type: none"> • カテゴリ 5 ケーブルの最大長: スイッチから装置まで 100 メートル • タイプ: RJ-45 • ラベル: 10/100/1000BASE-TX To AP
LED	AC 電源ステータス、アクセス ポイントの電源ステータス、および障害
電気仕様	<ul style="list-style-type: none"> • 統合電源装置 100 ~ 240 VAC • 出力電圧: 56 VDC • 入力電流: .95 A • 出力電流: .550 A
寸法	16.6 × 8 × 4.4 cm (6.54 × 3.15 × 1.73 インチ)
重量	390 g (13.8 オンス)
環境仕様	<ul style="list-style-type: none"> • 保管温度: -40 ~ +85°C (-40 ~ +176°F) • 動作温度: -20 ~ +55°C (-4 ~ +131°F)
標準準拠	規格 <ul style="list-style-type: none"> • 安全: <ul style="list-style-type: none"> ◦ UL 60950-1 ◦ CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1 ◦ IEC 60950-1 ◦ EN 60950-1

電源装置

Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントの電源装置は 100 ~ 200 VAC 電源で、ローカルに 56 VDC をアクセス ポイントに供給します。

表 5 に示すように、Cisco Aironet 電源装置は、アクセス ポイントと合わせて発注することも、個別に発注することも可能です。アクセス ポイントの発注に合わせて電源装置を構成する場合、アクセス ポイントと同じ梱包箱に収められて出荷されます。パワー インジェクタを別個に発注する場合、別の箱に収められて出荷されます。

表 5 Cisco Aironet 1250 電源装置の製品番号

製品番号	製品の説明
AIR-PWR-SPLY1	1250 シリーズ用電源装置
AIR-PWR-SPLY1=	1250 シリーズ用電源装置 (スペア)

発注情報

シスコ製品の購入方法の詳細は、「[購入案内](#)」を参照してください。

<http://www.cisco.com/web/JP/ordering/index.html>

表 6 に、Cisco Aironet 1250 アクセス ポイントの製品番号を示します。

表 6 Cisco Aironet 1250 アクセス ポイントの製品番号

製品番号	説明
AIR-AP1252AG-P-K9	802.11a/g/n 2.4/5-GHz モジュラ分散管理型 AP、6×RP-TNC、日本 2 構成
AIR-AP1252G-P-K9	802.11g/n 2.4-GHz モジュラ分散管理型 AP、3×RP-TNC、日本 2 構成
AIR-LAP1252AG-P-K9	デュアルバンド 802.11a/g/n 2.4/5-GHz モジュラ集中管理型 AP、6×RP-TNC、日本 2 構成
AIR-LAP1252GN-P-K9	802.11g/n 2.4-GHz モジュラ 集中管理型 AP、3×RP-TNC、日本 2 構成
AIR-RM1252A-P-K9=	802.11a/n 5-GHz 無線モジュール、3×RP-TNC、日本 2 構成、スペア
AIR-RM1252G-P-K9=	802.11g/n 2.4-GHz 無線モジュール、RP-TNC、日本 2 構成、スペア
AIR-AP1250=	モジュラ分散管理型 AP プラットフォーム(無線モジュール含まず)、スペア
AIR-LAP1250=	モジュラ集中管理型 AP プラットフォーム(無線モジュール含まず)、スペア
AIR-AP1250MNTGKIT=	1250 シリーズ 天井および壁取り付け付けブラケット キット(スペア)

サービスおよびサポート

シスコおよびシスコのワイヤレス LAN スペシャライゼーション パートナーは、さまざまなセキュアな音声およびデータ ワイヤレス ネットワーク ソリューション、テクノロジー、および戦略について、計画、設計、実装、運用、パフォーマンスの最適化を行う定評のある方法論をベースにした、幅広いエンドツーエンド サービスを提供しています。シスコのワイヤレス LAN スペシャライゼーション パートナーは、アプリケーションの専門知識を通じて、総所有コストを抑えたセキュアなエンタープライズ モビリティ ソリューションの実現を支援します。ワイヤレス LAN に関するシスコのサービスの詳細については、www.cisco.com/go/wirelesslanservices を参照してください。

関連情報

Cisco Aironet 1250 シリーズの詳細については、<http://www.cisco.com/jp/go/wireless> を参照してください。

©2009 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0704R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

お問い合わせ先